

高校・一般の部 最優秀賞

池田 美江子

特攻隊教官として教え子を戦場に送ったお話です。その方は戦争中は長野の上田に住まいをかまえ陸軍飛行学校の教官として飛行の操縦を少年に教育していました。教官は決して暴力を振るわない、やさしい方で地域とも溶け込んで人気のある教官だったそうです。

彼の教え子の内十数名の特攻兵が戦死しました。彼は生前から部下達に「君たちの命がなくなる時は俺も命がない」と語っており、終戦3日後の8月18日に上田の山で家族と共に割腹自決しました。教官は30歳、妻は22歳、娘生後27日、教官の決意はかたく「私は勝つために死し、負けては生きてあらいと心に誓ってきました。妻も同じ気持ちです。娘に手をかけた妻の気持ちを思うつらさ、父上、母上様先立つ事をお許しください。」と遺書にあり、この壮烈な事件は人の心を打ち純真な心、至誠の心だと言われました。当時はこれより他に方法がなかった事と思いますが、親の立場からは、どんな戦時下であろうと、孫の命だけは守りたかった、とくやみ平和の世にあって戦争のおごさを忘れる事の出来ない心、葛藤がずっと続いていたそうです。

二度とこのような事がない平和を私たちは守りましょう。